

インフルエンザは堺市で警報レベルに入ったあと、ピーク超え？

定点当たりの報告数				定点当たりの報告数			
期間	大阪府	堺市	当科	期間	大阪府	堺市	当科
12/12~18	0.82	2.59	0	1/23~29	24.34	33.86	21
12/19~25	2.21	4.07	0	1/30~2/5	29.91	36.75	23
12/26~1/1	3.57	4.93	0	2/6~12	28.12	31.54	17
1/2~8	7.57	7.64	8	2/13~19	22.04	23.07	19
1/9~15	12.22	11.29	10	2/20~26	未集計	未集計	13
1/16~22	20.46	23.29	14				

インフルエンザの定点当たりの報告数は、堺市で1月23日からの週が33.86となり、警報レベルの30超になりました。大阪府ではぎりぎり29.91留まりで、1月30日から2月5日の週をピークに下がってきています。当科では1月30日から2月5日の週の23人を頂点に減りつつあります。

出典：大阪府感染症情報センターHP『疾患別情報 インフルエンザ定点当たり患者数(直近10週)～7週(2月13日～2月19日)』

3月1日(水)から7日(火)は子ども予防接種週間です(再掲)
～当科では3月4日(土)12時から接種枠を設けます～
年長さんはMRワクチンの接種が終わってますか？

大人の風しん第5期定期接種の抗体検査・予防接種、受付中

～大阪大学の研究チームが作成した啓発動画をご覧になりましたか？～



風しんの抗体検査受検・ワクチン接種 動画PJT | オフィス篇 (2022年度版)
風しんの抗体検査受検・ワクチン接種 動画PJT | ウェディング篇 (2022年度版)

昭和37～53年度生まれの男性対象の風しんの抗体検査受検率がまだ3割で、目標の半分であるため、厚生労働行政推進調査事業の研究結果を基にYou Tube動画が作成され、多くの人の目に留まるよう、インターネット広告が出されたところ、約2週間で計50万回再生を突破し、異例であると新聞記事になりました

(CiDER様によると約1か月で計100万回再生を突破済み)。オフィス篇とウェディング篇があります。堺市在住の方で身分証明書があれば、クーポン券がなくても、当科で検査を進めることができます。

出典：読売新聞2023年2月24日朝刊『こぼれ話 異例の再生回数 検査も増えて』、大阪大学 感染症総合教育研究拠点CiDER HP『阪大発の感染症情報サイトCiDER 風しんの抗体検査受検・ワクチン接種 動画プロジェクト | 動画公開！』

一酸化炭素・シアン化水素を同時解毒可能な解毒成分を開発

同志社大学理工学部の北岸教授率いる研究チームは、火災などで発生する一酸化炭素やシアン化水素を速やかに尿に排泄できる解毒成分を開発しました。今は酸素吸入や高気圧酸素療法位しか治療法がないのが、火災現場などでの注射により、早期に根本治療を開始できる可能性があります。教授は5～10年以内に救急車や救急病院などに配備されることを期待していると語っています。

出典：同志社大学HP『同志社大学 理工学部 北岸教授研究チーム 火災ガス中毒の原因である一酸化炭素(CO)とシアン化水素(HCN)の同時解毒が可能な救急救命用治療薬を開発』、『A synthetic porphyrin as an effective dual antidote against carbon monoxide and cyanide poisoning』

6か月から4歳の乳幼児用コロナワクチン受付について

特定の水曜の午後1時からの予防接種枠後に接種をしていますが、現在のワクチン事業が3月31日までのため、今から1回目をスタートした場合、3回目の接種の取り扱いがどうなるか、未定です。

5歳から11歳の小児用コロナワクチンの1・2・3回目受付中

特定の土曜に接種をしています。お電話か受付でご予約ください。こちらは12歳以上とは違い、従来型のファイザーワクチンで、2・3回目の間隔は5か月以上のままです。

12歳以上の2価コロナワクチンを受付中

3月接種分を募集しています。2月27日以降の接種日は月・金・土になっています。当科診療時間内にお電話(072-297-7771)ください。2月からはネット予約を実施しておりません。

日本脳炎ワクチンは通常通り、予約できます

2023年4月から子宮頸がんワクチンの9価ワクチンが定期接種に 2023年4月から四種混合ワクチンが生後2か月で可能に

2月1日から、
発熱外来を拡大しています

感冒症状の**全くない方**専用

午前診 9:00～10:00
夕方診 17:00～17:30

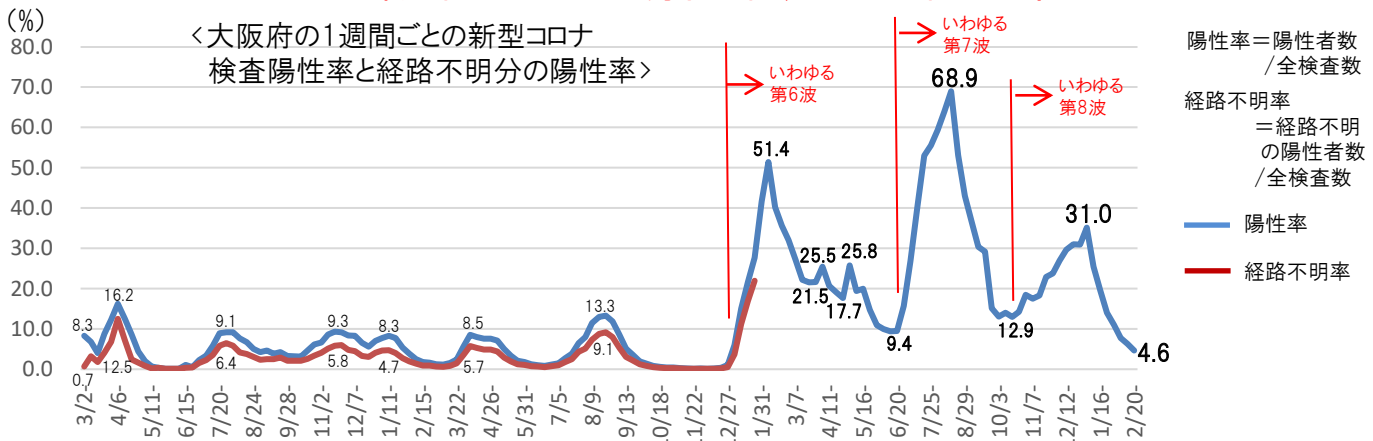
全く感冒症状のない方は、乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症などを指します。

当科のコロナ抗原検査の1週間毎の陽性率

検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率					
R4.2/2~	10	3	0	30%	4/25~	21	7	3	42%	7/19~	36	13	0	36%	10/11~	16	3	0	19%	R5.1/2~	14	2	0	14%
2/7~	21	10	4	56%	5/2~	9	1	0	11%	7/25~	47	13	6	36%	10/17~	18	4	0	22%	1/9~	12	3	0	25%
2/14~	11	4	0	36%	5/9~	18	2	2	20%	8/1~	23	12	4	65%	10/24~	11	1	0	9%	1/16~	33	6	0	18%
2/21~	5	3	0	60%	5/16~	10	1	2	25%	8/8~	15	6	3	50%	10/31~	11	0	0	0%	1/23~	22	3	0	14%
2/28~	21	13	1	64%	5/23~	14	3	0	21%	8/16~	20	11	6	59%	11/7~	14	2	0	14%	1/30~	22	2	0	9%
3/7~	14	4	3	41%	5/30~	8	0	0	0%	8/22~	27	8	2	34%	11/14~	10	3	0	30%	2/6~	17	0	0	0%
3/14~	14	6	2	50%	6/6~	9	1	0	11%	8/29~	10	4	2	50%	11/21~	19	1	0	5%	2/13~	3	0	0	0%
3/21~	13	6	1	50%	6/13~	3	0	0	0%	9/5~	18	3	2	25%	11/27~	18	5	0	28%	2/20~	6	0	0	0%
3/28~	10	0	0	0%	6/20~	10	1	0	10%	9/12~	26	3	1	15%	12/5~	14	3	0	21%					
4/4~	9	1	0	11%	6/27~	8	1	0	13%	9/20~	7	2	1	38%	12/12~	19	3	0	16%	計、平均	884	222	47	29%
4/11~	18	2	0	11%	7/4~	11	4	1	42%	9/26~	23	6	1	29%	12/19~	17	6	0	35%					
4/18~	14	3	0	21%	7/11~	31	14	0	45%	10/3~	17	3	0	18%	12/26~	7	1	0	14%					

当科での週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者数+みなし陽性者数)/(抗原検査数+みなし陽性者数)で計算しています。当科では2月3日以降、コロナ陽性の方はおられません。

大阪府のコロナ陽性率、さらに低下中



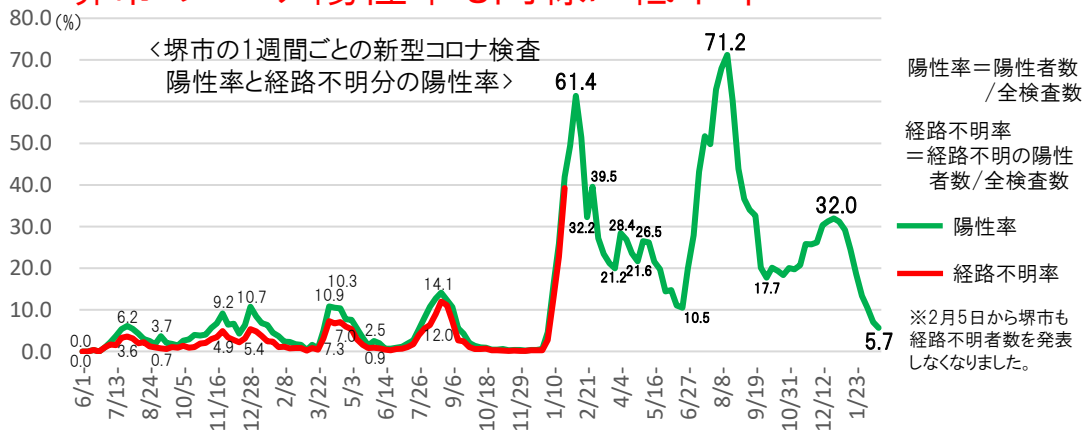
陽性率=医療機関での陽性者数/医療機関での検査数(同一人物に抗原検査とPCR検査の重複はありえます)での推移です。2022年12月19日からの週の31.0%が第8波のピークで、2023年2月20日からの週は4.6%まで低下しました。

出典:大阪府HP『大阪府の最新感染動向 最終更新 2023/2/26』

堺市のコロナ陽性率も同様に低下中

堺市の第8波での陽性率は2022年12月26日から1月1日の週に32.0%まで悪化後、2023年2月20日から26日の週には5.7%まで低下しています。

出典:堺市危機管理室 Twitter 最終更新 2023/2/26



3月・担当医の変更

2日(木) 赤澤→片桐
25日(土) 片桐→赤澤